

能登半島被災地支援レポート



第6回支援活動：12月20日（金）～23日（月）

<概要>

活動地域：輪島市門前町 介護施設「ゆきわりそう」「楓の家」

輪島市町野町 仮設住宅

輪島市：河原田公民館、七浦公民館

輪島市内児童クラブ：仮設小学校、ふれあい健康センター、大屋児童クラブ

もんぜん児童クラブ、三井児童クラブ、まちの児童クラブ

穴水町児童養護施設「あすなろ学園」

石川県金沢市みはる幼稚園

活動内容：アイスクリーム（ポーションカップ約 1500 個）、お菓子の提供

トリドールホールディングス『丸亀製麺』とのコラボイベントとして、児童養護施設のクリスマスイベントに参加。

丸亀製麺さんはキッチンカーにて「うどん」、miraie からは「アイスクリーム、プレミアムグッズ、お菓子」を提供。

<今回の活動について>

丸亀製麺さんとは東京都内にて2度コラボイベントを開催。6月に参加した品川区『子ども食堂フォーラム』において「能登半島支援への提案」を行い結実。今回の支援活動に繋がりました。また、輪島市社会福祉協議会との事前調整が出来、直接、輪島市内6か所の児童センターや仮設小学校において、子ども達にアイスクリームを提供する事ができました。9月の豪雨災害により、児童センターとしての機能を持った施設の殆どが、床上床下浸水となり、開催場所も転々とする状態が続く中、子ども達に直接会って、商品を提供できたことは本当に良かったと感じております。また、金沢市内へ避難されている子供たちにも商品を提供。生活環境は整っている一方、これまで一緒だった学校の友達と離れ離れになり、生活に馴染めないという問題は支援を行う上でも継続的なサポートが必要であります。

<復興状況及び問題点>

市内では通行止め区間にも仮設道路が完成し、移動時間の短縮が見られるようになりました。また、輪島市内中心地は、住宅の撤去工事が進んでおり、復興に向けた準備がこれから本格的に始まる印象を持ちました。ただ、中心部から離れたエリアでは9月の豪雨災害も重なり、復旧に時間を要します。また、トンネルが土砂に埋まってしまった為、大幅に計画を見直す必要性のある場所もあります。現地での支援活動を通じて、メディアでは伝わらない情報が多く有る事を再認識しました。そこで暮らす住人さらに子供たちに対する継続的なケアは重要であり、これから厳しい冬を迎える中、これまで通り継続的な支援を実施して参りたいと思います。



「おさよトンネル」（輪島市門前町に位置）

生活に欠かせないトンネル。9月の豪雨で土砂が流れ込み通行止めとなった。現状、旧道を利用して市内に出ることとなり、移動時間も3倍になった。

※復旧には半年以上を要します。

<支援活動の様子>



介護施設 ゆきわりそう へのアイスクリーム提供



児童クラブの子ども達へのプレゼント





輪島市 仮設小学校※内の児童クラブでの交流

※輪島市内 6 小学校が震災の為使用できず、現在、多くの小学生が仮設合同校舎で授業を受けている。



穴水町 児童養護施設 あすなろ学園

あすなろ学園

石川県穴水町（能登半島東部）に位置し、児童養護施設・障害者支援施設・老人福祉施設等を併設する。
今回は児童養護施設の児童に直接商品の手渡しを行い、障害者及び介護施設に対しては養護施設職員を通して商品を提供しました。



輪島市町野第二仮設団地

輪島市町野の位置する 250 世帯（約 500 人）が入居する仮設集合団地。輪島市中心部まで 1 時間を要していたが、12 月 5 日に崩落した海岸沿い道路を迂回した仮設道路が完成し、30 分内で移動できるようになった。同地区では下記「集会所」及び「まちの湯」で支援活動を実施



被災者の為に町内グラウンドに建設された仮設住宅・中心部には集会所があり、相談窓口やサービス・物資提供等の案内がなされる。



まちの湯



避難者への入浴施設。自衛隊が設置後、現在は NP0 団体が管理を受け持ち運営。地域の憩いの場として地域被災住民にサービスされている。9月の豪雨災害においても浸水被害を受け、自衛隊やNP0が中心となり17日後に再開した。